

当院で手術を受けられた患者様へ

麻酔科において下記の研究を実施しますので、お知らせいたします。本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」に従って行われます。

研究課題

整形外科手術におけるターニケット解除時のバイタル変動についての統計学的検討

研究の意義・目的

整形外科手術においては出血を抑えるためにターニケットがしばしば用いられますが、その解除時に血圧低下や呼気中二酸化炭素分圧上昇といったバイタルの変動が起りやすいことが知られています。これらの変動は脳、心血管系をはじめ重大な合併症をもたらす可能性があるため、変動を生じやすい患者様の特徴や条件、変動のパターンなどを知ることは重要なことと考えられます。

対象となる方

2020年1月1日～2024年3月31日の期間中にターニケットを用いた手術を受けられた、あるいは受けられる患者様。術前にお渡しした「診療情報を用いた臨床研究に対するご理解・ご協力のお願い」（包括同意説明書）に対する「診療情報を用いた臨床研究に対する包括同意」に同意されなかった方や、その他の形で拒否の意思を表明された方は対象といたしません。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の連絡先にご連絡ください。

研究の方法

術中にターニケットを使用した整形外科手術を対象として、麻酔記録の一般生体情報（血圧、心拍数、酸素飽和度、呼気二酸化炭素濃度、換気力学モニター測定項目、BISモニター測定項目、NIROモニター測定項目）の変動を多変量解析といった統計学的手法により分析します。記録を用いた後ろ向き研究であり、患者様への介入は一切ありません。データは匿名化した上で厳重に管理します。研究結果は、個人が特定できない形式で学会などに発表されます。

研究機関

東京通信病院 麻酔科

本研究に関する問い合わせ先

東京通信病院（病院代表03-5214-7111）麻酔科 森田泰斗、大辻幹哉